

認知症医療に関わるアンケート

私は下記のチェックした項目について賛成します。

- すでに厚労省に申請があった共和薬品のドネペジル1mg錠「アメル」の認可をしていただきたい。
- クロルプロマジン（ウインタミン）は、陽性症状の強い認知症には必須であり、過鎮静の予防のために薬価を引き上げて、低用量5mg錠の製造を促してほしい。
- ドネペジル、ガランタミン（レミニール）、リバスチグミン（リバスタッチ、イクセロン）、メマンチン（メモリー）の用法用量、増減の裁量権を医師に渡してほしい。
- チアプリド（グラマリール）、クエチアピン（セロクエル）、ハロペリドール（セレネース）、ペロスピロン（ルーラン）を「認知症」の病名でレセプトを通してほしい。
- メシル酸ペルゴリド（ペルマックス）をLドーパとの併用でなくとも処方認めてほしい。
- メネシット錠・ネオドパストン錠、メシル酸ペルゴリド、マドパー錠、ドロキシドパ（ドプス）、ロチゴチン（ニュープロ）パッチ、プラミペキソール（ビ・シフロール）の病名としてレビー小体型認知症を認めてほしい。

医師氏名（自書に限る） _____

所属名称 _____

所属住所 _____

所属電話番号 _____

提出年月日 平成 年 月 日